

子育て支援センターへ来てみませんか

昨今は昔と違って核家族化が進み、地域とのつながりも希薄になってきています。そのため子育てについて身近に相談する人がいない、情報が多すぎてどれを選んでいいのか分からない、同じような子育て中の友達、いわゆる“ママ友”がなかなかできないなど、いろんな悩みを抱えて孤立してしまう状況が見受けられます。本市では子育て支援センターを整備し、子育てを応援する取り組みを進めてきました。

子育て支援センターは、合併当時には東五城・さくら・里小牧・黒田北の市立4カ所と私立かもめ保育園子育て支援センターの計5カ所でしたが、18年4月に私立若の宮子育て支援センター、20年4月に千秋子育て支援センター、21年10月には丹陽子育て支援センターを開設しました。これによりおよそ2・5km圏内で子育て支援センターを利用できるようになりました。さらに移動子育て支援センターとして、うごく子育てサロン「こっこ」が20年7月から毎月、公民館等市内16カ所を巡回しています。

1カ月間に各市立子育て支援センターでは約1100人、「こっこ」では約500人と大変多くの方にご利用いただいています。子育て支援センターのプレールームでは、お子さんと大型遊具で遊んだり、お弁当を食べたりする

こともできます。親御さん同士、お子さん同士の楽しい交流が生まれています。

子育て支援センターは「みんなで子育て」をモットーにしており、事業の主な目的としては、第1に子育て相談、第2に子育て関連情報や親子の交流の場の提供、第3に子育てサークルの育成・支援、第4に産後ヘルプです。

1番目の子育て相談は、経験豊かな保育職員が子育て家庭のお母さん・お父さんの相談に乗り、アドバイスをし、必要に応じて保健センターなどの関係機関を紹介しています。

2番目の情報の提供としては、情報誌「みんな子育て」の発行と、子育て支援サイト「みんな子育て ゆめおりつこ広場(<http://yume.gendai365.net>)」を開設しています。子育てに関する情報を提供するだけでなく、子育て支援掲示板を使って、いつでも自宅のパソコンや携帯電話から自由に相談したり情報を交換したりすることができます。子育て支援サイトは役立つ情報満載です。市ホームページのトップページからもリンクしていますので、ぜひのぞいてみてください。

3番目の子育てサークルの育成・支援では、必要に応じてセンター職員がアドバイスをしたり、サークルをサポートするボランティアを紹介したりし

て、つながりができるようお手伝いしています。

4番目の産後ヘルプ事業は、親御さんなどの援助や介護を受けられない方のために用意しました。出産前後の体調不良や多胎児出産のため家事や育児が困難なご家庭は、事前に登録してください。いざというときには援助者を紹介します。

そのほかにも「公園へいこっ!」「ママといっしょでいいな」・「パパもいっしょに遊ぼっ!」や育児講演会なども随時開催しています。専門家の話を聴いた親御さんたちから、乳幼児期の子育ての楽しさや大切さ、ママが孤立しないこと、夫婦で語り合うことの大切さにあらためて気が付いたという感想をいただいています。

また新しい試みとして、20年6月には、ボランティアによる「子育てすけっとバンク」を立ち上げ、各種事業で活躍していただいています。

一方、保育園でも育児相談に力を入れるとともに園庭開放を行い、地域の子育て拠点の一翼を担っています。

子育てはお母さん独りではできません。子育て支援センターや保育園では、皆さんの子育てを応援しようとお待ちしています。どうぞ気軽にお出掛けください。